

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
飛騨市	古川南部地区 (上町、是重、向町、高野、平岩、畦畑)	平成24年8月1日	令和3年3月18日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	131 h a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	127 h a
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	23 h a
i うち後継者のいない農業者の耕作面積の合計	12 h a
ii うち後継者のいる農業者の耕作面積の合計	11 h a
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	78 h a
(備考) ④の耕作面積は、古川地域全体の面積である。	

2 対象地区の課題

<p>【上町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南部営農組合の今後について、高齢化や後継者不足から耕作依頼が増えていくことが予想される ・ 農振地域や用途地域内に属している地域があり、農地として守るべきか、農地外にすべきか検討しなければならない ・ 小さい田が多い中、農地に強いこだわりを持っている人も多く集約をする場合農地の入れ替えが難しい ・ 区画が狭く圃場の条件も悪いので耕作しにくい ・ 預かった農地を耕作者が草刈りや水路管理をしなければならない ・ 土地を預けてしまった人が改良組合から抜けてしまっており、農地への興味が無い ・ 義務感で所有農地の管理はできているが、後継者もやりたがらず自家消費の耕作で十分でありこれ以上面積を広げることは難しい ・ 農地に対する財産意識がない ・ 機械が壊れても買い替えてまでやろうとは思わない <p>【是重】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな地域に農地が点在しており、地区内にまとまった農地がなく圃場の話合いができない ・ 農業の収支は毎年赤字であり義務感だけで耕作している ・ 米の作り方について学ぶ機会がない <p>【向町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面積が小さく、形状も悪い場所は担い手も受けてくれない ・ 圃場へ出入りするスペースが小さいため大型機械が入れない ・ 農地がいろいろな地域に点在しており、営農効率が悪い ・ 畦畔が大きく傾斜が強いため草刈り作業が大変である ・ 家には後継ぎがいても、農業を継ぐ気がない ・ 耕作者が高齢化しているが、後継者はいない

- ・機械の買い替えや作業委託にお金が必要にもかかわらず、今の農業では儲からない
- ・機械が高く、購入してまで続けられない
- ・耕作できなくなった場合、どこに、だれに相談すればいいのかわからない
- ・耕作放棄地が増えている

【高野】

- ・高齢化による人手不足や地域内の担い手不足
- ・若い人の農業離れにより農地が守っていきなくなる恐れがある
- ・機械の維持が大変
- ・地域の中心となる次世代の耕作者がいない
- ・獣害や畦畔が大きく草刈りが大変である
- ・地区内の担い手として4名みえるが、農地も点在しており、高齢とともに農地を減らしていきたいと考えている

【平岩】

- ・山に囲まれているので日照時間が短い
- ・畦畔が大きく、傾斜が強いため草刈り作業が大変である

【畦畑】

- ・畦畔が大きく、草刈りが大変
- ・山際や小さい農地は借り手がない
- ・高齢で、後継者がいない
- ・農地を防ぐための個人対応は限界にきている
- ・獣害がひどい
- ・旧小学校付近の残土処分場の埋め立て完了後の活用

3 対象地区内における課題に対する取組

【上町】

- ・南部営農組合を集落営農組織のような地域で取り組む形の検討を行う
- ・担い手が営農効率を上げるために小規模基盤整備や土地改良の検討を行う

【是重】

- ・この話合いを機会に農業などについて家族での会話をしていく

【向町】

- ・集約、集積は重要であり土地改良により区画拡大の検討を行う
- ・土地改良着手までの約10年間をどのように農地を守っていくか検討していく
- ・土地改良も解決策の一つではあるが、小規模基盤整備事業を活用し耕作しやすいように変えていく
- ・農地の入れ替えを行い、地域の担い手に集約していけるように地域で協力していく
- ・担い手の作業条件をよくしてやりやすく、面積をこなしてもらえそうな環境づくりの話合い
- ・農業を続けたい方は少しでも長く、農業を続けられない方は担い手が耕作しやすい環境を整備していく
- ・農地等に関する問題が生じた場合は、改良組合長が相談窓口となり市につなぐような仕組みづくり

【高野】

- ・耕作できなくなったときの相談窓口を改良組合が中心となって行っていく
- ・地域の協力があれば地域内で担い手になりそうな人もいないので話合いを継続していく
- ・施設園芸等の新規就農者の受け入れを検討していく
- ・健康のための農業、生きがい農業として楽しんで耕作していく

【平岩】

- ・中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払制度を活用し農地の維持管理をしていく

【畦畑】

- ・地域内で話合う場が必要であり課題や情報共有など今後も継続し、耕作できなくなったときの相談窓口を改良組合が中心となって行っていく
- ・ラジコン草刈り機の共同購入の検討を行っていく
- ・山際などの農地と守るべき農地の見極めや振興作物の作付けなどの検討をしていく
- ・地区外からの担い手が作りやすい環境や受け入れ態勢を整える
- ・施設園芸の新規就農者の候補地を準備し受入れ体制を整える

4 3を実現するために必要な取組に関する方針

【玄の子地区】

- ・土地改良事業に着手

【上町】

- ・土地改良について、地権者を交えた話合いや勉強会を行う検討委員会を立ち上げ、意向を確認するアンケートの実施や個人負担がかからず担い手への集積率や集約率を上げるための環境づくりを行っていく
- ・土地改良実施までの期間が時間を要するため、小規模基盤整備事業を活用
- ・南部営農組合の今後について、集落営農など地域農業が維持できる方法の話合い
- ・農地を守るためには、耕作者だけではなく、農地所有者が農地について考え理解していくことが重要であり、多面的機能支払制度の活用を検討する